



タイルとステンレスが調和するキッチンは、冷蔵庫を見えにくい位置にレイアウトする配慮も。ダイニングチェアは北欧製のヴィンテージ。



リビングの角にあるのはパーモントキャスティング社の薪ストーブ「イントレピッド II」。後ろの表情ある壁は、COAT社のglasspaintという塗料で仕上げられている。



元の建物形状をベースに、ポーチの屋根の架け方を片流れに変えてシンプルに。外壁は耐候性の高いガルバリウム鋼板、壁量を増やし耐震性も向上。



8畳和室の続き間と広縁を一体にし、欄間や長押を取り払って開放的な大空間を実現。ゆったりとしたソファは、フロリングの端材などを活用した造り付け。

長岡市 K邸

築32年
 家族構成：夫婦
 構造：木造軸組工法

リフォーム費用
計1,860万円
 工期：5か月
 リフォーム面積：130.50㎡(39.40坪)

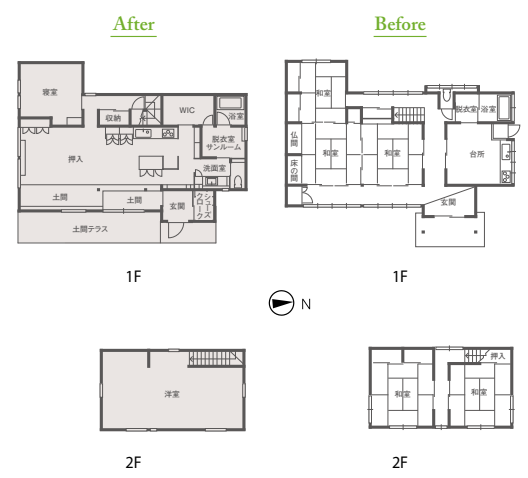
解体工事	150万円
木製建具工事	55万円
鋼製建具工事	80万円
内装工事	58万円
付帯設備工事	185万円
その他・消費税	1,332万円

使った設備・建材
 キッチン サンワカンパニー(オッソ)
 壁塗料 COAT (glass paint)

施工
株式会社 高田建築事務所
 リフォーム研究所

■ 企業情報→P000
 ■ その他事例→P000

かつての8畳の食室は、洗面スペース・トイレ・脱衣室兼サニタールームに。幅広の造作洗面台には、使い勝手のいい実験用シンクを採用。



かつての広縁は玄関から続く土間空間に。折り上げ天井はラワンベニヤで仕上げアクセントに。

00 株式会社 高田建築事務所 リフォーム研究所 戸建て

Before 和室と廊下が多い、こま切れの間取り
 After **木とモルタルの質感活きる
 ラフな心地よさを愉しむ家**

節のあるオークの床がラフな趣きを感じさせるK邸。窓側はモルタル仕上げの土間で、観葉植物が映える心地よい空間が広がっています。「新築か中古住宅のリノベーションかを考えていましたが、ゆったりとした場所に住みたいと思い、郊外の300坪の敷地に立つ中古住宅を購入しました」とご夫婦。はじめに基礎と躯体だけ残して解体し、断熱・耐震改修を実施。基本性能を高めた上で、既存の構造を生かしながら間取りを大きく変え、28畳のLDKを実現しました。「土間のある広いワンルームでの暮らしをイメージし、このような空間を提案して頂きました。掃き出し窓からテラスにスムーズに出られるのもいいですね(奥様)。」

休日はダイニングから庭の落葉樹を眺めたり、造作ソファに座ってゆつくりと映画を見たり。新築よりも総費用を抑えながら、ゆとりある暮らしが叶えられました。